

第2回 日進市地域支え合い体制づくり検討委員会 議事録

開催日 : 平成24年3月27日(火)

開催時間 : 13:30~15:10

開催場所 : 日進市役所 第3会議室

出席者 : 委員 石井好恵 数井美津子 金山和広 小出哲次郎 萩野光枝
福安淳也 松島寿 村瀬公一 森道成 保竹優宏
事務局 福祉部 加藤、山中 高齢福祉課 近藤、小塚、菅野、安藤
欠席者 池田和正 大須賀恵子 大橋儒郁 小坂浩和 鈴木章夫
谷口節子 松嶋輝信

傍聴の可否 可

傍聴の有無 無

次第

- 1 議事 平成23年度 事業報告、今後の取り組みについて
- 2 その他

議題1 平成23年度 事業報告

市 資料に沿って説明

委員 検索模擬訓練について一過性のものではなく、市として今後も継続支援していくつもりか。先日、南ヶ丘で取り組みの報告会があったが、役員も年ごとに替わっていく中で、支え合いの取り組みを地域に定着させるにはある程度の時間が必要と思う。

市 行政として費用面での支援は難しいのですが、今後も必要な支援は続けていきたいと思えます。

委員 介護保険や医療保健制度が大きく変わっているため、情報が把握できない人たちがいる。そのような方たちのため、勉強会等の情報提供の場が必要だと思う。行政も考えてほしい。

市 今後の取り組みについては、後ほど取り上げます。今年度地域支え合い体制づくり事業に取り組んでいただいた、社会福祉法人ポレポレの石井委員よりご報告お願いいたします。

委員 地域支え合い体制づくり事業として、「ぼくたちげんきキャラバン隊」としてリヤカーを改造し、食料等を引き売りするという取り組みを平成 24 年度から実施できるように準備を進めてきた。事業実績としては、みかんの収穫販売をしたことと、NPO 法人なかまの家が実施している「おもしろ体験小屋」というイベントを共催にしたことが挙げられる。今後も、地域関係者と「ぼくたちげんきキャラバン隊」の活動について話し合いを開く予定になっている。

市 ありがとうございます。質問等ありましたらお願いします。

委員 同様に補助を受けたサンコムネットの取り組みはどうなっているか。

市 ブログ作成の講座が 2 回開催され、20 名の定員がほぼ一杯になりました。現在、「ニッシーブログ村」が完成し、23 個のブログが掲載されています。3 月 17 日に交流会も開催し、ブログを通して、高齢者が孤立しないように関係作りをしていかれると聞いております。

委員 今後も自主事業として取り組まれますが、研修を開催して新しい方の勧誘を行っていくとのことですか。

委員 ポレポレの五色園での活動状況を教えてほしい。

委員 障害者自立支援法にある就労継続支援事業 B 型と生活介護事業を行っており、障害のある利用者が製品を作って販売しているのが日常の主な活動です。

委員 高齢者実態調査について、地区ごとの特徴はあるのか。
「今の健康状態はいかがですか？」という質問については、70 歳の方は比較的健康な方が多いと思われるが、75 歳以上の方は、健康ではない方が多いのではないかと？

市 データの中身がまだ精査できていませんが、地区によって住まいや高齢化率に偏りがあるため、特徴が現れる可能性はあります。今後データの整理を進めてまいります。また、この調査は介護保険の認定者を除いた方を対象としておりますので、健康状態については年齢を重ねたことによる影響は少ないものと考えます。

これまで民生委員が収集した情報を基に、支援が必要な高齢者の把握をしていましたが、把握が不十分ではないかと考え、今回、住民基本台帳のデー

夕を基に、初めて調査をしました。

その結果、至急対応が必要な方が一人もおらず、民生委員や地域包括が日頃からよくやって頂いていたと安心できたことから、意味がある調査と考えております。

委員 南ヶ丘が東郷町・みよし市と合同で行った徘徊高齢者搜索模擬訓練について、今後はどのようにしていくのか。

市 現在、市では徘徊高齢者搜索模擬訓練のマニュアル作成に取り組んでいます。マニュアル作成ができましたら、どの地域も自らで取り組んでもらい認知症支援の大切さを理解してほしいと考えています。

東郷町・みよし市との合同訓練も広域での対応というのは、県からの課題でもありますので、今後も続けていきたいと考えています。

徘徊については、できるだけ早く発見することができるしくみづくりに取り組んでいます。本市の場合、メールやファクスの一斉送信による情報配信を行っています。また、徘徊される高齢者の事前登録制度や定期巡回的に徘徊する方は、地域包括が支援し、徘徊されるルートをマップに落とし地域の方に見守りのお願いをしています。

委員 情報配信について、行方不明の方の氏名が伏せてあるが、本人の名前がわかれば誰か思い当たり、知人に協力を呼びかけることもできるのではないかと思う。

市 家族には名前の開示をお願いしますが、中には出たくないという方もおられます。今後の課題は、認知症について皆さんに理解してもらい、名前を出すことに抵抗がなくなる取り組みをすることと思います。

委員 認知症家族会について聞きたい。

市 NPO 法人に委託して「家族支援プログラム」に取り組みました。認知症の方を介護するご家族を対象に、6回の連続講座を開催し、最終日に参加者から家族会を立ち上げたいとの声を受け、平成24年4月から月1回の交流会を開催していく予定です。

委員 今後、認知症家族会はどのように周知していくのか。

市 市の広報誌やホームページのほか、チラシを作成して周知を行っていく予定です。

委員 今参加している方は、全体の一部と思われるので、介護者が出やすい環境にして参加者を呼びかけることも必要と思われる。また、ひとつの会だけでは、対象者全員が参加することは難しいので、色々な設定をすることも大切である。

議題2 今後の取り組みについて

市 資料に沿って説明

委員 介護保険におけるヘルパー派遣時間について基準時間の変更がある。介護保険だけで、在宅の生活を支えていくことは難しいと考えるが、地域支え合いの取り組みとの連携はどのように考えているのか。

市 第5期介護保険事業計画において、ボランティアポイント制や総合的な福祉サービスなどのインフォーマルサービスをどのように構築していくかという課題がありますが、24年度の早い段階で検討していく予定です。

委員 介護サービスの支給量を減らされると、それ以外のサービスをうまく連携させなければ生活がやっていけない人もいますので、今後市で検討していくなかで、情報交換はしたが何もできなかったでは困ると思っています。

市 行政だけではいい知恵も浮かばないので、できるだけ多くの方に関わっていただき、話し合いを重ねていきながら何ができるか考えていく必要があります。地域の課題を拾い上げ、問題を共有していくプロセスと、どこが担うかを明らかにする必要があります。

委員 自分も老人クラブに加入する対象年齢になっているが、仕事をしているので加入することはできないが、老人クラブは何をするところか考えることがある。

現在の老人クラブのあり方が、時代にあっていないところがあり、変化が必要だと思う。最終的に地域での見守りは、顔見知りのお年寄り同士が良いと考えているので、市からこれらの活動について提案をしてほしい。

委員 老人クラブ会員の意識は、この2～3年で変化してきたように感じる。市全体で協力できることがあれば、役員会に図ったうえで、協力していきたいと考えている。

その他

市 3月29日に、高齢者地域見守り推進事業のひとつとして、郵便事業株式会社と新聞各社と見守り協定を結ぶ予定です。この事業の内容は、高齢者のお宅で、異変を感じたときに、市か地域包括に連絡していただき、確認するもので、取り組んでいきます。

(終了)